



発行 公益社団法人
武蔵野市シルバー人材センター
編集 広報編集委員会
武蔵野市中町 3-5-16
電話 0422-55-1231 (代)
URL <http://www.musashino-sc.or.jp/>

205(夏)号 もくじ

- 平成29年度定時総会 1
- 役員交代ごあいさつ..... 2～3
- 私のふるさと..... 4～5
- むさしのSCトピックス 5
- 武蔵野・ぶらり・時空旅..... 6～7
- ひろば、新入会員、
お亡くなりになった方、編集後記..... 8

平成29年度定時総会

6月16日の午後梅雨空の下、武蔵野公会堂で今年度の定時総会が開催された。会場はほぼ満席。定刻の1時に開会。伏野理事の開会宣言から始まった。北村副会長の開会の辞、そして山中会長の挨拶。「平成23年公益社団法人となった当センターは、来年創立40周年を迎えます。①収支の相償、②社会奉仕活動の促進、③コンプライアンス（法の遵守）など色々な条件の中で活動して参りました。また今年は会長の私が代わります。北村副会長も代わり、事務局長も交代しました。新体制となります。新しい環境と新しい方向の中、皆さん一致団結して頑張ってくださいと思います。」という山中会長の言葉があった。続いて来賓の祝辞があり、邑上守正市長の祝辞を笹井肇健康福祉部長が代読。「当センターが市と市民のために重要な仕事をしており、なくてはならない存在」という内容でした。次の来賓は新任の本間まさよ市議会議員。続いて島崎よしじ都議会議員。そして武蔵野市老人クラブ連合会伊藤不折会長。

次は恒例の会員表彰で、永年会員20年表彰が8人、10年表彰が37人で、各代表として20年山崎功一氏、10年小美濃幸二氏が壇上で山中会長から賞状と記念品を授与された。

いよいよ総会が開始。議決権数の報告（定足数確認）が山中会長からあり、定数が達していることを確認し、総会が成立した。

次は議長選任。会場から会長一任の声が上がり、

西久保の大石彰氏が選任された。大石議長から議事進行の協力要請がなされた。

泉監事が監査報告を行い、中村事務局長により議案書に基づき平成28年度事業報告がされた。議決事項として平成28年度決算の承認がなされた。16名の理事と2名の監事の選任は一人ずつ審議され、それぞれ賛成多数により選任された。大石議長が議事進行の協力を謝し退任の挨拶を行った。

役員退任の挨拶。司会の伏野理事が名前を読み上げる。山中会長、北村副会長、舟山理事、泉監事の4名。山中会長が代表で挨拶。閉会の辞は小野理事。「緞帳は一旦降ろしますが10分程でまた開けて、記念写真を撮るのでできるだけ前列中央に集合して下さい」と案内。

幕を下ろした舞台では臨時の理事会があり、間もなく幕が開き新役員が紹介された。会長は境南町の加藤之義理事、副会長は緑町の田中雅子理事、常務理事は中村義明事務局長に決定した。新会長が挨拶したあと、退任した役員表彰が行われた。

2時半過ぎには閉会となり、最後に記念の集合写真撮影が行われた。



あいさつをする
山中前会長



加藤会長の
あいさつ



前役員



新役員

役員一覧

定時総会にて役員交代が承認されました。お住いの地域の役員を紹介します。

平成29年6月16日

担当		氏名	担当		氏名	担当		氏名
会長		加藤 之義	理事	吉祥寺北町	小野 千鶴子	理事	境	浅野 利男
副会長		田中 雅子	理事	中町	立松 正通	理事	境南町	高木 攻
常務理事	事務局長	中村 義明	理事	西久保	安達 勝	理事	桜堤	船戸 勲
理事	吉祥寺東町	伏野 嘉高	理事	緑町	武田 淑子	理事	武蔵野市役所健康福祉部長	笹井 肇
理事	吉祥寺南町	小坂 強	理事	八幡町	加藤 伴子	監事		永井 雄太郎
理事	御殿山吉祥寺本町	岡部 正	理事	関前	今井 宏美	監事		中野 菱子

役員ごあいさつ

新任役員



会長

境南町 ^{ゆきよし} 加藤 之義

6月16日の定時総会での理事承認を受け、同日開催の臨時理事会の互選会で会長の大役を仰せつかりました加藤之義です。境南町地区理事として理事歴7年目です。理事活動は毎月の理事会を始め、関係する部会・委員会のテーマに沿った審議・検討とそれに基づく実活動と多忙です。

理事だけで出来ることではないので、会員の皆様のご支援・ご協力をお願いして新任挨拶といたします。(広島県の呉市に生まれ、三重・東京育ち、74歳です)

退任役員



吉祥寺北町 山中 一成

先の定時総会をもちまして、北村副会長共々退任することになりました。

会員の皆様、理事、森田相談役、事務局のご指導、ご鞭撻をいただき深く感謝いたします。会員皆様の意欲的な就業姿勢、市の誠意ある支援、各理事の奉仕的な地区活動、そして事務局職員の献身的な日常活動にあることに大きな感銘を受けた次第です。

新体制となり、変化する内外の環境に対応する姿勢も整い、今後の発展を期待しています。

新任役員あいさつ



副会長

緑町 **田中 雅子**

このたび副会長の大役を仰せつかりました、緑町の地区理事7年目の田中雅子です。

何をすべきか、何が出来るのかを考え、人材センターのため、会員の皆様のために、誠心誠意努力してまいります。会員の皆様のお力をお借りして、一步一步前進してまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(東京生まれ東京下町育ち)



監事

吉祥寺南町 **中野 菱子**
りょうこ

この度、新任監事に選任され、改めて責任の重さを感じております。

今後は理事会の組織、運営の在り方を勉強させていただき、少しでもシルバー人材センターのお役に立てますよう、努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

(福岡県生まれ、福岡育ち)



理事

緑町 **武田 淑子**
よしこ

緑町担当の武田です。

初めてのお役は「挑戦する」には荷が重いことのようにですが、出来る限り励みたいと思います。

特に女性のみなさま、どんなことでも、どんどんお声をかけてくださいませ。手芸・小物班も合わせてよろしくお願いいたします。(東京生まれ、阿佐ヶ谷育ち)



理事

境南町 **高木 功**

このたび理事に新任されました高木功です。一億総活躍時代に入り、我々高齢者が地域社会のために助け合いながら共に働き、社会活動に参加していく会員の皆さまのお役に立てるよう、諸先輩と力を合わせて活動できれば幸いです。(北京生まれ、中野育ち)



理事

境 **浅野 利男**

境地区理事に就任しました浅野利男です。

施設管理で中学校に行っております。皆様のお力添えの下、日々の活動が更に充実したものになりますよう力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(東京生まれ、祖師谷育ち)



退任理事あいさつ



境 **舟山 五郎**

2年間の理事を通して、色々な事を学ばせていただきました。

これからの日本は世界一の高齢化社会となってまいります。その中であって、シルバー人材センターは第二、第三の人生の働き場となり、センターの果たす役割は、益々大きなものになっていくと存じます。

更なるシルバー人材センターの発展をお祈りしております。

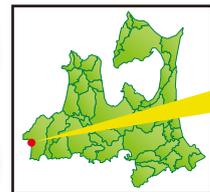


吉祥寺東町 **泉 昭正**

シルバー人材センターにお世話になって10年、その間、毎月約330戸の家庭に市報むさしのを届けて参りました！そのような縁で、監事も引き受けましたが、二期4年で退任させていただきました。今年もセンター発展のため、お役に立てればと思っております！

私のふるさと

—— 第14回 青森県深浦町森山 ——


 吉祥寺東町
ともなり ほしゅう
 友成 穂秀 会員


深浦町森山

★穂秀さんが生まれ育ったのは青森県の西海岸、秋田県境に近い西津軽郡岩崎村森山（現・深浦町森山）という集落である。岩崎村は延長32キロの海岸線に沿って集落が断続的に点在し、すべての集落は白神山地が日本海に落ち込む海岸段丘の上に構成されている。

●私は昭和11年にこの集落で生まれました。7人兄弟の一番上で、4人の弟、2人の妹がいます。戸数は35軒で、それは今も変わりません。住民の姓は柴田と平沢の二つで、私は柴田の家に生まれました。友成というのは結婚後の苗字です。先祖代々森山に住み、半農半漁の暮らしでした。

★「農」の主力は米だったが、野菜も作った。寒冷地だから収穫は夏に集中し、枝豆、とうもろこし、きゅうり、まくわうり、すいかなどが獲れた。お母さんと子どもたちが担い手だった。

「漁」はお父さんの仕事だった。春漁はヤリイカ、ホッケ、カレイなどで一番の稼ぎはワカメだった。夏漁はサザエ、アワビ、モズク、夜の一本釣りではタイとスズキが獲れた。6月から8月にかけて、定置網には南下してくるクロマグロが入り、村人の家計を潤した。秋漁はヒラメが主で冬は海が荒れるため漁はできなかった。



●夏は浅瀬にやってくるアカエイを小舟の上から銚で突きました。昼二枚分くらいのエイがひと夏に3～5枚は獲れました。土用のエイを食べれば無病息災と言われ、珍重されていました。獲れたエイは35軒で分け、我が家では醤油味の煮付けなどで食べました。

冬場は屋号「山正」という家の人間だけが、つかの間の凧に船を出し、長さ1kmの刺網を仕掛けカドザメ（和名アブラツメザメ）を獲りました。体長3メートル近いサメで、その肉を35軒の家に分配しました。白子が旨かったのを覚えています。

★青森県では昔からネズミザメやアブラツメザメなどを食べるサメ食文化が発達していた。津軽だけでなく南部でもサメを食べていたようだ。

●私は新制の学校教育を受けています。小学校は隣の正道尻にある分校で、1年生から4年生までの児童が通っていました。全校生徒は35人。それが一つの教室で授業を受けていたのです。体育と音楽は専科の先生がいましたが、あとは一人の先生が国語・算数・理科・社会を教えていました。同じ教室で同じ時間に、4学年それぞれに別なことを教えるのですから大変だったと思います。5年生、6年生は岩崎にある本校に通いました。こちらは1クラス50人で、各学年とも2クラスありました。授業は学年別、クラス別でした。

小学校時代の遊びで思い出深いのは、休みの日の朝、男子だけが二手に分かれ、竹で作った刀で合戦をすることでした。女子は同じ時間に誰かの家に集まってカルタをしていました。中学校時代は家の手伝いが忙しく遊びの思い出はありません。

★青森県五所川原と秋田県能代を結ぶ五能線が開通していたとはいえ、当時の岩崎村は日本のチベットといわれるほどの僻地だった。青森県内には列車通学できる距離に高校がないため、高校進学者は五能線で能代にある学校に通った。石炭カスが飛んでくる蒸気機関車だった。

●朝6時15分、岩崎駅発の上りの列車に乗ると、8時前に能代駅に着きます。駅からは歩いて秋田県立能代高校に通いました。帰りは17時半の下り列車に乗りました。17時半の列車に乗るため本格的な部活などできませんでしたが、どうしても遅くなる時は学校の宿舎に泊まりました。

★言葉も文化も津軽という岩崎村だが、青森県の中心部からは遠く、能代の経済圏だった。青森県でありながら、ある意味秋田県の一部でもあるの

は、昔も今も変わらないようだ。現に、穂秀さんの名刺には「青森県学生寮OB会東京代表」に並んで「武蔵野秋田県人会」とある。

●昭和20年の2月頃から家の上をB29が飛ぶようになりました。20～30機で編隊を組み、奥羽山脈を越えて来るのです。低空飛行で爆音を響かせながら日本海に消えて行きました。その先に陸地はないのにどこに飛んで行ったのでしょうか。青森市は大空襲に遭いましたが岩崎村が爆撃されたことはありません。

8月15日、8歳の私は山にいました。昼頃降りて来たら港に日本の軍艦が入港していました。下船した一人の兵隊さんが男鹿半島に向かって手旗信号を送っているのを見ました。男鹿半島には軍の基地も駐屯地もありません。兵隊さんは何をしていたのでしょうか。晴れて海も穏やかな日でした。
★岩崎村は雪国だから保存食作りが盛んだった。各家庭で、アイナメ、ソイなどの飯^{いずし}鮓を作ったり、イワシの糠漬けをこしらえたりした。もちろん漬物や山菜の塩漬けも作る。多くの塩が必要だった。友成会員には塩についての思い出がある。

●戦争中から我が家の庭で製塩をしました。畳大の鉄板が軍から支給され、村の鍛冶屋が四辺を折り曲げて長方形のたらい状の物を作りました。そこへ海水を入れて下から火を焚き、塩を作って軍に納入していたのです。24時間焚きっぱなしで、海水を汲んでくる者、薪を採ってくる者、火の番をする者など役割分担があり、雨の日も雪の日も年中無休です。屋外作業ですが屋根はありました。

戦後もこの作業は続きました。余った塩は弘前や秋田に持って行き、米や果物と物々交換をしました。塩は専売制なのにお咎めはありませんでした。5年くらいは続けたように記憶しています。

★高校を卒業した穂秀さんは大学進学のために上京したが、夏休みには帰省して漁の手伝いをした。その稼ぎで東京での生活費を稼いだというから豊かな海だったのだろう。卒業後は証券会社のサラリーマンとなり、結婚し33歳で友成家の養子となった。今やすっかり吉祥寺の人である。

(聞き手 編集部 遠藤)

むさしのSCTピックアップ

- 4/5(日) むさしの桜まつりに、手芸・小物班が出店しました。
- 5/15(月) 安全標語の表彰式がありました。入賞した標語は、各ページの下段に掲載しております。
- 5/15(月)～17(水) いきいき支え合いヘルパーの研修がありました。※次回は秋に予定しています
- 6/4(日) ごみゼロデーの市内三駅での清掃活動がありました。
- 6/11(日) 社会福祉協議会主催の、お父さんおかえりなさいパーティーに参加し、新規会員のお誘いをしました。
- 6/16(金) 平成29年度定時総会がありました。
- 6/27(火) 新旧役員が市長を訪問しました。



むさしの桜まつり



安全標語表彰式



いきいき支え合い
ヘルパー研修



平成29年度定時総会

武蔵野・ぶらり・時空旅

12

吉祥寺北町 下谷 一廣

☆甲武鉄道開業 パート2

前は甲武鉄道開業時の興奮ぶりをお伝えしたが今回はどの様な経緯でこの鉄道（後の中央線）が誕生したのかについて書いてみたい。

1、舟による輸送

江戸末期から明治初めには物資の流通が盛んになっていた。その輸送手段としての主役は荒川、利根川、相模川などを使用した舟運であった。舟による輸送はそれまでの人力、荷駄（馬を使った）、馬車などに比べて数倍の荷物の輸送ができた。

現在の中央線沿線（特に立川から西）の物資は、わざわざ荒川流域の新河岸（川越周辺）まで人力や馬車で運びそこから舟を使って江戸に運んでいた。

そのため荒川周辺の商人は地の利を得て大きな富を得ていた。

一方武蔵野・多摩地方には、江戸で需要の高い薪・炭、建材として青梅丸太と呼ばれる檜、杉さらに白壁の原料としての石灰石などがあり、サツマイモをはじめ野菜類も江戸での需要が高かった。しかしいかんせん旧態然とした輸送手段しかなかったのである。

青梅街道、五日市街道、甲州街道と江戸・東京

を結ぶ道にはひっきりなしに人馬が往来したが物量は舟運と比べるべくもなかった。

羽村、福生村、砂川村（現立川）で財をなした何人かが着目したのが玉川上水である。羽村から四谷大木戸まで50km溢れんばかりの水量があり、この上水を使わない手はないと考えたのも当然の成り行きであった。

玉川上水を利用した舟運開業は江戸時代から日本橋の商人などが何度も幕府に許可をねがっていたが実現には至らなかった。

“この上水は主として江戸市民の飲料用であり清潔に保つべきであり、そこに輸送用の舟を浮かべるなど絶対に許可しない”と幕府役人は言い続けてきた。

しかし明治政府になり上水の管轄が民部省土木司になると、明治3年（1870）4月より通舟を許可すると布告が出た。

当然のことながら、羽村、福生村、砂川村などの有力者は快哉した。

だが僅か2年後の明治5年5月30日限りの中止通告が出されてこの舟運事業はあっけなく幕となった。

玉川上水の管轄が国から東京府に移行されたことにもよるが、明治初期の役人には九州、中国、四国出身が多くこの上水の重要性を理解していなかったと思わざるを得ない。たった二年とはいえ舟運事業により上水はどうにもならないほどに不潔になったのである。

奇しくもこの明治5年に日本初の蒸気機関車が日本橋・横浜間に開設された。



馬車鉄道（日本橋・新橋間）



鉄道博物館（おみや市）の機関車

2、馬車鉄道

舟運中止通告が出た後も何度か上水を利用した舟による輸送の許可申請が出されたが受理されることはなかった。

一方明治5年(1872)10月14日に開業した新橋・横浜間 日本初の蒸気鉄道は徐々にではあったが、速度、輸送力の違いを見せつけ始めた。

欧米を視察した有力者たちは鉄道の威力を見せつけられ、鉄道網の整備が我が国の発展にとって喫緊の課題であると認識したのである。

しかしこの時期、西南戦争などの戦費などで財政難を抱えていた維新政府の伊藤博文や大隈重信らは“官設官営鉄道”から鉄道事業の民営化を目指したのである。

明治14年(1881)になって我が国最初の民間鉄道会社「日本鉄道」が設立された。同鉄道は、東京・青森間の長距離路線を蒸気鉄道で敷設し、赤羽・新宿・品川間を走る品川線も開通させる。

蒸気鉄道敷設への気運は高まってはいたものの、高額な初期投資および維持・保守など経費的な面でも現実味がないと考える人も多く、とりあえず手軽な馬車鉄道なら可能と、路線敷設の申請が相次いで出た。

明治15年(1882)6月になって“東京馬車鉄道”によってはじめて新橋・日本橋間が開業している。

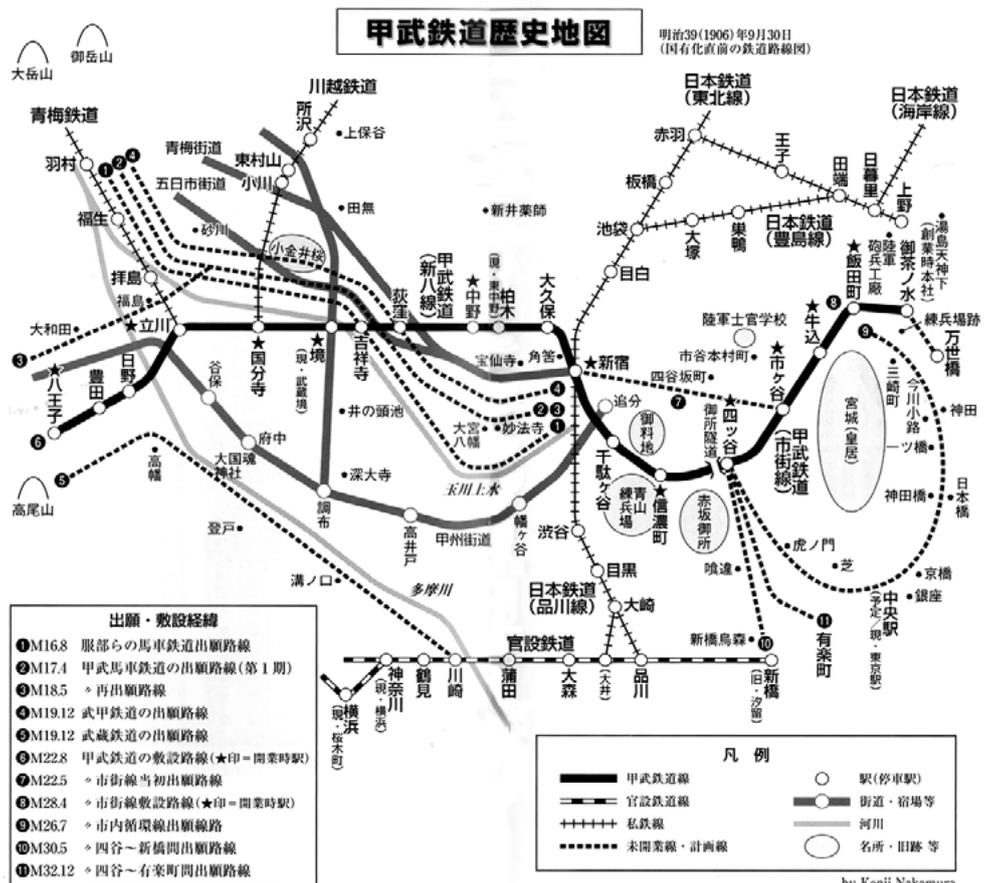
こういった状況を踏まえて、玉川上水の土堤を利用した新宿・羽村間の馬車鉄道敷設の願いが明治16年に東京府に出された。当然上水土堤を利用すれば、用地買収や敷設の費用が安くなるとの思惑もあった。

この願いも上水を汚濁させるという理由で一蹴されたのである。

下の「甲武鉄道歴史地図」をご覧ください。①から⑤までが出願された路線図である。最終的には⑥の敷設路線図が採用され、とりあえず新宿・立川間が開通したのである。この路線に決まるまでには利権を巡って様々な人の思惑が絡み、沿線の住民による反対運動などもあり、ようやく明治22年になって蒸気機関車による鉄道で決着したのである。甲武鉄道に関してはまだまだ書き残したことが多い。鉄道敷設に関して武蔵野村はどのように対応したのか？

また現在の久保駅から立川駅までが一直線に決まった経緯や現在の武蔵境駅がなぜあの場所になったのか？ 等々は折を見て「甲武鉄道パート3」として取り上げたい。

*参考資料 「中央線誕生」中村建治著 交通新聞社新書「武蔵野市史」



甲武鉄道歴史地図

ひろば

熱中症 予防



今年もあっと言う間に暑くなってきました。熱中症予防をして元気に過ごしましょう。

①目で見て暑さを確認しやすいように、温度計などを良く見えるところに置き、普段から気温や湿度を気にしましょう。

②水分補給のタイミング

汗をかいていなくても、のどが渇いたと感じる前に、こまめな水分補給をしましょう。人は1日に1リットルから1.5リットルの水分補給が必要とされています。

どうやって水分を補給すればよいの？

水だけを1リットル以上飲むのは、たいへん苦

しく、逆に食欲不振の原因にもなったりします。

おすすめは牛乳などの乳製品、麦茶、スイカです。トイレが近くなって辛いかもしれませんが、熱中症予防のために摂るようにしましょう。

①乳製品は血管内に水分を引き込んで血液を増やす作用があり、予防に効果的です。

②麦茶は水分補給＋血液サラサラ効果が期待できます。

③スイカはカロリーが低く、食物繊維、手足のムクミ改善、美白、高血圧予防、骨粗しょう症予防などに効果的です。

④食事から摂る方法もあります。

おつゆたっぷりの冷やしうどん、そば、にゅう麺はいかがでしょうか。具をたっぷりのせて汁ごといただきます。汁を全部いただくので塩分は少し控えめに。

煮物も汁たっぷりで作り、栄養の溶け出た汁ごと全部いただきます。(S.E.)

編集後記

この季刊誌「絆」に「武蔵野・ぶらり・時空旅」を書き始めて4年近くになります。生き生きとした武蔵野の歴史を少しでもお伝えしたいと思い、図書館へ通い資料調べをしたり「ふるさと歴史館」を訪ねたりしました。またあるときには玉川上水や千川上水を歩き、慣れない写真撮影などもしました。古老にお話を伺うこともありました。そういったことを通してより深く武蔵野の歴史や自然を知ることが出来今まで以上に住んでいる当地に愛着を感じる今日この頃です。

私は東京生まれですが、小学生のころから父親の仕事の関係で日本各地を転々としました。様々な土地での暮らしは貴重な体験となりましたが、これからは40年近く暮らしている武蔵野をわが故郷として腰を落ち着け骨を埋める気でおります。

この号が出るころは二十四節季で申すところの“大暑”となります。会員の皆様熱中症などになりませんようにお気を付け下さい。

(下谷)